

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-93772 (P2004-93772A)

【公開日】平成 16 年 3 月 25 日 (2004.3.25)

【年通号数】公開・登録公報 2004-012

【出願番号】特願 2002-253357 (P2002-253357)

【国際特許分類第 7 版】

G 1 0 L 19/00

G 1 0 K 15/02

G 1 0 L 19/02

【F I】

G 1 0 L 3/00 N

G 1 0 K 15/02

G 1 0 L 7/04 G

G 1 0 L 9/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のデータ列を第 2 のデータ列に変換するデータ変換方法において、

前記第 1 のデータ列に含まれている第 1 のデータを第 2 のデータに置き換える置き換えステップと、

前記置き換えステップの処理により生成されたデータを用いて、前記第 2 のデータ列を生成する第 1 の生成ステップと、

前記第 2 のデータ列の少なくとも一部の使用を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて使用が許可された前記第 2 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む第 1 の使用許可情報を、前記第 2 のデータ列に付加する使用許可情報付加ステップとを含み、

前記第 2 のデータ列が使用される場合、前記第 1 の使用許可情報に基づいて、前記第 2 のデータ列のうち使用が許可されたデータが使用される

ことを特徴とするデータ変換方法。

【請求項 2】

前記第 2 のデータ列に、前記第 1 のデータ列に含まれない第 3 のデータ列を追加する追加ステップを更に含み、

前記使用許可情報付加ステップの処理では、前記第 3 のデータ列が追加された前記第 2 のデータ列の少なくとも一部の使用を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて使用が許可された前記第 3 のデータ列が追加された前記第 2 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む前記第 1 の使用許可情報を、前記第 3 のデータ列が追加された前記第 2 のデータ列に付加する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 3】

前記第 1 の生成ステップの処理により生成された前記第 2 のデータ列を前記第 1 のデー

タ列に復元するために必要な第 4 のデータ列を生成する第 2 の生成ステップを更に含み、
前記第 2 の生成ステップの処理により生成される前記第 4 のデータ列は、前記置き換え
ステップの処理により前記第 2 のデータに置き換えられた前記第 1 のデータを復元するた
めのデータを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 4】

前記使用許可情報付加ステップの処理では、前記第 1 の使用許可情報を暗号化して、前
記第 2 のデータ列に付加する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 5】

前記条件は、前記第 2 のデータ列の使用回数を示す情報、前記第 2 のデータ列の使用期
限を示す情報、前記第 2 のデータ列の使用期間を示す情報、または前記第 2 のデータ列の
使用時間を示す情報のうちの少なくとも一つを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 6】

前記置き換えステップの処理では、前記第 2 のデータ列が再生される場合に前記第 1 の
データ列よりも再生品質が劣化するように、前記第 1 のデータを前記第 2 のデータに置き
かえる

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 7】

入力されたデータを符号化する符号化ステップを更に含み、

前記置き換えステップの処理では、前記符号化ステップの処理により符号化された符号
化データを前記第 1 のデータ列として、前記第 1 のデータを前記第 2 のデータと置き換え
る

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 8】

入力されたデータを周波数成分に変換する周波数成分変換ステップと、

前記周波数成分変換ステップの処理により周波数成分に変換された前記データを符号化
する符号化ステップと

を更に含み、

前記置き換えステップの処理では、前記符号化ステップの処理により符号化された符号
化データを前記第 1 のデータ列として、前記第 1 のデータを前記第 2 のデータと置き換え

、

前記置き換えステップの処理により前記第 2 のデータに置き換えられる前記第 1 のデー
タは、前記周波数成分変換ステップの処理により変換された周波数成分のスペクトル係数
情報を含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 9】

前記第 1 のデータ列および前記第 2 のデータ列は、音声データを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ変換方法。

【請求項 10】

第 1 のデータ列を第 2 のデータ列に変換するデータ変換装置において、

前記第 1 のデータ列に含まれている第 1 のデータを第 2 のデータに置き換える置き換え
手段と、

前記置き換え手段により生成されたデータを用いて、前記第 2 のデータ列を生成する生
成手段と、

前記第 2 のデータ列の少なくとも一部の使用を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各
条件に基づいて使用が許可された前記第 2 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含
む使用許可情報を、前記第 2 のデータ列に付加する使用許可情報付加手段と

を備え、

前記第 2 のデータ列が使用される場合、前記使用許可情報に基づいて、前記第 2 のデータ列のうち使用が許可されたデータが使用される

ことを特徴とするデータ変換装置。

【請求項 1 1】

第 1 のデータ列を第 2 のデータ列に変換するデータ変換装置を制御するコンピュータが実行可能なプログラムであって、

前記第 1 のデータ列に含まれている第 1 のデータを第 2 のデータに置き換える置き換えステップと、

前記置き換えステップの処理により生成されたデータを用いて、前記第 2 のデータ列を生成する生成ステップと、

前記第 2 のデータ列の少なくとも一部の使用を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて使用が許可された前記第 2 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む使用許可情報を、前記第 2 のデータ列に付加する使用許可情報付加ステップと

を含み、

前記第 2 のデータ列が使用される場合、前記使用許可情報に基づいて、前記第 2 のデータ列のうち使用が許可されたデータが使用される

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 1 2】

第 1 のデータ列を再生または記録するデータ処理方法において、

前記第 1 のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された前記第 1 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む使用許可情報を管理する使用許可情報管理ステップと、

前記使用許可情報に基づいて、前記第 1 のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータを再生または記録するデータ処理ステップと

を含むことを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 1 3】

前記第 1 のデータ列は、第 2 のデータ列を含み、

前記使用許可情報管理ステップの処理では、前記第 2 のデータ列を含む前記第 1 のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された前記第 2 のデータ列を含む前記第 1 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む前記使用許可情報を管理し、

前記データ処理ステップの処理では、前記第 2 のデータ列を含む前記第 1 のデータ列を再生または記録する場合に、前記使用許可情報に基づいて、前記第 2 のデータ列を含む前記第 1 のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータを再生または記録する

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載のデータ処理方法。

【請求項 1 4】

第 3 のデータ列に基づいて、前記第 1 のデータ列に含まれている第 1 のデータを第 2 のデータに置き換える置き換えステップと、

前記置き換えステップの処理により生成されたデータを用いて、第 4 のデータ列を生成する生成ステップとを更に含み、

前記使用許可情報管理ステップの処理では、前記第 3 のデータ列に付加された、前記第 4 のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された前記第 4 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを前記使用許可情報に追加して管理し、

前記データ処理ステップの処理では、前記第 4 のデータ列を再生または記録する場合に、前記使用許可情報に基づいて、前記第 4 のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータを再生または記録する

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載のデータ処理方法。

【請求項 1 5】

前記使用許可情報は暗号化されている

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載のデータ処理方法。

【請求項 1 6】

前記条件は、前記第 1 のデータ列の使用回数を示す情報、前記第 1 のデータ列の使用期限を示す情報、前記第 1 のデータ列の使用期間を示す情報、または前記第 1 のデータ列の使用時間を示す情報の少なくとも一つを含む

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載のデータ処理方法。

【請求項 1 7】

前記第 1 のデータ列は、音声データを含む

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載のデータ処理方法。

【請求項 1 8】

所定のデータ列を再生または記録するデータ処理装置において、

前記所定のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された前記所定のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む使用許可情報を管理する使用許可情報管理手段と、

前記使用許可情報に基づいて、前記所定のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータを再生または記録するデータ処理手段と

を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 1 9】

所定のデータ列を再生または記録するデータ処理装置を制御するコンピュータが実行可能なプログラムであって、

前記所定のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された前記所定のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む使用許可情報を管理する使用許可情報管理ステップと、

前記使用許可情報に基づいて、前記所定のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータを再生または記録するデータ処理ステップと

を含むことを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

本発明のデータ処理方法は、第 1 のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された前記第 1 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む使用許可情報を管理する使用許可情報管理ステップと、前記使用許可情報に基づいて、前記第 1 のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータを再生または記録するデータ処理ステップとを含むことを特徴とする

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

本発明のデータ処理方法およびデータ処理装置、並びにプログラムにおいては、第 1 のデータ列の少なくとも一部の再生または記録を許可する 1 以上の条件を示す情報と、各条件に基づいて再生または記録が許可された第 1 のデータ列の少なくとも一部を示す情報とを含む使用許可情報が管理され、使用許可情報に基づいて、第 1 のデータ列のうち再生または記録が許可されたデータが再生または記録される。